

市議会議員

おのざわ康弘の

会派活動報告

ひげ通信



2021

64~67

発行日 21-3(小野澤康弘)

Tel.049(232)5789 Tel.049(231)4850

おのざわ康弘ホームページ
http://onozawayasuhiro.com/

コロナ禍における市議会報告

新型コロナウイルス感染症の発生からすでに一年以上が経過し地球規模による人類に対する挑戦のごとく世界的な感染者の増加や数百万人にも及ぶ感染症による死亡が確認されるなか、我が国も感染症対策や経済問題の対する対策を含め、国民の生活様式までも変化を伴う現状である。さて、私もこの一年の間、議会活動はもとより議員としての活動も緊急事態宣言下、行動の自粛等を課されたなか、市議会の一員として市民の為の市政と重く受け止め活動を行ってまいりました。本来であれば毎議会ごとの報告「ひげ通信」をすべきところでありましたが、令和二年六月議会から令和三年三月議会の報告をまとめてご報告させていただくことに対しましてご理解をいただければ幸いです。

令和三年一月新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下、川越市政を左右する川越市長選挙が行われました。三期一二年の市長任期を自ら規制をした条例制定を行った川合善明現職市長から昨年十二月議会に自らこの条例廃止の提案があり、我が会派は賛成し議会での賛成多数で廃止の可決がされました。その上で新たに四期目を目指した市長選挙によ

り投票率は極めて低かったものの今後の市政の課題を大きく受け止め四期目の川合市政がスタートしました。議会としてもこの一年間、重要議案の審査を行い執行することの責任を受け議決を行ってまいりましたが、この一年間は国からの第一次補正予算に始まり第三次補正予算と今までにない大きな額の予算が国から下りてきましたが、主に新型コロナウイルス関連の予算配分を重視した市民の皆様や事業者の方々への配分が主であり後半には特に医療分野の対策資金でありましたが、なかなか現状の課題及び情報の分析が大変難しい中、執行部側からの提案に対し議会としてもできる限り詳細な質問・質疑や提案等も含め議会としての責務を果たしてきたものと、私は思っておりますが、短期間での情報分析に追われることも多く、私は川越市政にとつても、今回の緊急事態時などに対応できる日頃の情報不足に伴い分析能力に対する不足が表面化したのも事実であると受け止めており、このような時こそ、日頃、私が申し上げているように、執行者側と議会側とが市政の両輪として進展していくことを今回強く感じておりましたので、私なりに議会の中での役割を果たしていきたいと思っております。

・大野知事、川合市長、近藤副議長と共に「おうちに帰ろうキャンペーン」に参加しました。
(川越駅東口)



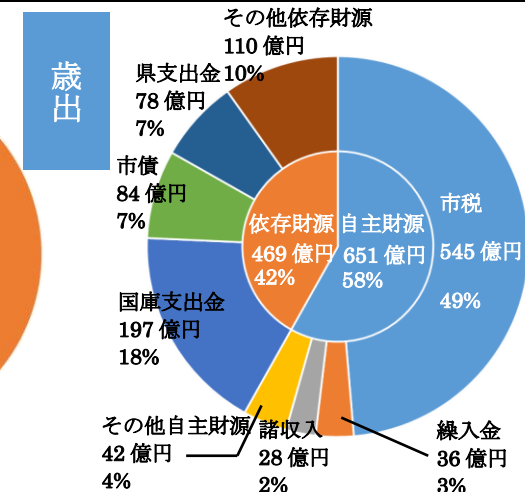
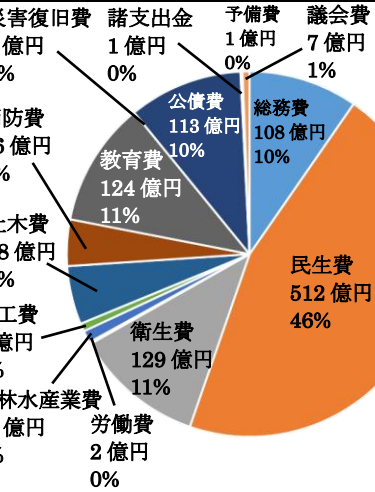
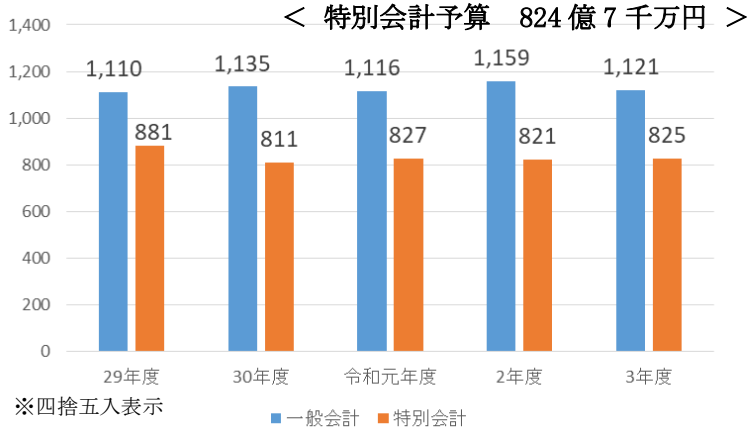
・川越市長選挙立合演説
松井釜太郎元市議・田畑市議



令和三年度の予算の規模

①新型コロナウイルス感染症の影響により市税等が大幅に減収となる中、新型コロナウイルス感染症への対応、災害に強い安全・安心なまちづくり、子育て支援に取り組むため、総額1120億7千万円となる令和三年度一般会計予算を編成。
 ②令和三年度一般会計予算は前年度当初予算(1千115億5千万円)と比較して37億8千万円(3.3%)の減。
 ③一般会計と特別会計を合わせた総額は、令和二年当初予算と比較して33億7千159万2千円(1.7%)の減。主な要因は、企業会計を含む特別会計は増となるものの、一般会計の減(37億8千万円)が影響したことによる。

当初予算規模の推移

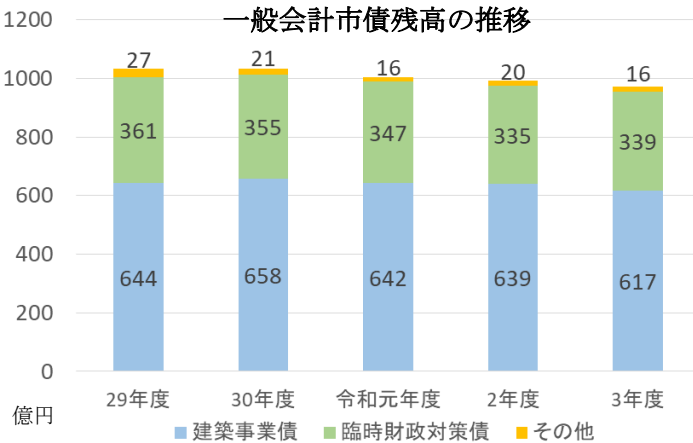


一般会計歳入歳出予算
 ・歳入では、市税が給与所得や企業収益の減により前年度より34億円減の545億円を計上
 ・歳出では、土木費が川越駅西口歩行者用デッキ延伸の完了等により25億円減の58億円を、総務費は武道館耐震改修工事の完了等により13億円減の108億円を計上
 ※計数は四捨五入の為一致しない場合有

市債残高の状況

令和三年度の市債残高は、市債の発行抑制により前年度から約22億円減の約972億円を見込む。
 ※計数は四捨五入の為一致しない場合有

一般会計市債残高の推移



市税の状況
 ①市税は新型コロナウイルス感染症の影響に伴う給与所得者の減少や雇用情勢の悪化により、個人市税が前年度より13億9千822万3千円(6.2%)の減、法人市税も減の210億円を見込む。法人市税も企業収益の減少により、前年度より15億4千521万8千円(40.2%)減

の23億円を見込む。

②固定資産税は、家屋の評価替え等の影響により、前年度より2億7千481万8千円(1.2%)減の228億307万6千円を見込む。
 ③市たばこ税は、過去の実績本数や税率の引上げを踏まえ、前年度より1億424万円(5.2%)減の19億円を見込む。
 ④都市計画税は、家屋の評価替え等の影響により、前年度より4千95万円(1.0%)減の41億5千813万9千円を見込む。

地方消費税交付金の引上げ分
 地方税法第72条の116に基づく消費税税率引上げ分の地方消費税交付金は、社会保障4経費(年金、医療及び介護の社会保障給付並びに少子化に対処するための施策)、その他社会保障施策(社会福祉、社会保険及び保健衛生に関する施策)に充当することとされており、令和3年度の引上げ分として40億9千90万9千円を見込む。

公債費・市債残高の状況
 ①公債費は、平成26年度から平成27年度にかけて減少傾向にあったが、平成28年度から増加に転じている。令和3年度は、小中学校普通教室空調施設整備に伴う市債の償還金や臨時財政対策費の償還金の増などにより、前年度より5億291万8千円(4.7%)

の23億円を見込む。

<p>増の113億650万7千円を計上した。</p> <p>②市債残高(借入)は、平成25年度以降増加で維持していたが、令和元年度からは減少に転じている。令和3年度は歳出の公債費(元金分106億2千280万7千円)に対し、歳入の市債(84億1千620万円)が下回ったことにより、令和3年度末の市債残高は前年度から22億660万7千円(2.2%)減の972億1千154万8千円を見込む。</p> <p>積立基金の状況</p> <p>①令和2年度は、利子分を除く積立金として森林環境基金に2千523万円、市制施行100周年記念事業基金に2千万円等を計上した。</p> <p>②令和3年度は、既存の基金の有効活用として、公共施設マネジメント基金から2億3千万円、減債基金から2億円を取り崩すとともに市制施行100周年事業基金、平和基金、文化芸術スポーツ振興基金、福祉基金、緑の基金、商業振興施設整備基金、みんなで支える観光基金、初雁公園整備基金及び大学奨学金基金を取り崩し、関連事業の財源を確保した。</p> <p>③一般会計における令和3年度末の積立基金残高は、財源対策として財政調整基金から28億8千円を取り崩したこと等により、前年度から33億8千292万4千円(48.9%)減の35億2千891万5千円を見込む。</p>

・令和2年度川越市一般会計3月補正予算の概要(※詳細は川越市広報をご覧ください)

事業名称	補正額	主な内容
新型コロナウイルスワクチン接種 (担当課：新型コロナウイルスワクチン接種対策室)	1,726,692,000円	居住者分 1,614,393,000円(354,500人×2,070円×2回) 出生、転入分 86,526,000円(19,000人×2,070円×2回) 予診のみ 2,541,000円(1,500人×1,540円×1回) 乳幼児加算 23,232,000円(16,000人×660円×2回)

・令和3年度予算の主なポイント

子育て安心施設運営管理(新規)	36,453,000円
川越市保育ステーション事業(新規)	54,104,000円
学童保育室改修	27,053,000円
GIGAスクールサポーター	44,232,000円
英語指導助手配置事業	76,502,000円
南古谷駅周辺地区整備	219,419,000円
川越駅東口駅前広場改修	165,100,000円
小江戸川越ハーフマラソン	4,000,000円
旧川越織物市場整備	214,000,000円
グリーンツーリズム整備推進	557,773,000円
クラッセ川越冷暖房設備等改修工事(新規)	147,912,000円
東清掃センター大規模改修	1,639,900,000円
総合体育館パッケージ空調機交換工事	4,640,000円
道路照明LED化(新規)	26,350,000円
市制施行100周年記念事業	50,130,000円
初雁公園整備	135,158,000円
オリンピック関連事業の推進	52,608,000円
PCR検査等の公費負担	34,986,000円
感染症入院医療費の公費負担	29,588,000円
在宅医療拠点センター機能の拡充(介護特会)	19,446,000円
成年後見制度に係る中核機関の開設(新規)	12,038,000円
犯罪被害者等見舞金(新規)	900,000円
デマンド型交通事業	31,845,000円
川越江川内水対策事業費負担金	33,000,000円
江川流域都市下水路内水対策工事	8,800,000円
下小坂樋管周辺内水対策	7,000,000円

・令和3年度一般会計補正予算の主なポイント

中小企業事業継続支援金[一律7万円] [対象者]対象月の売上が前年同月比で15%以上減少した市内の中小企業者(約6,800社を見込む)	479,637,000円
路線バス運行継続支援	12,000,000円
新型コロナウイルス感染症患者等入院病床確保協力金	56,000,000円
ひとり親世帯生活応援支援金給付[一世帯5万円]	100,239,000円
高齢者世帯エアコン購入費等助成[上限:一世帯4万円]	20,937,000円

一般質問

令和三年三月一般質問

安全なまちづくり推進にかかる法改正について

(質問主旨)

昨年六月に都市再生特別措置法等の一部改正がありました。今回の改正では「安全なまちづくり」「魅力的なまちづくり」の実現に向けた二本立ての改正です。魅力的なまちづくりでは居心地よく歩きたくなる街中の創出などですが、今回私は本市に度重なり気象災害をもたらした水害によることも鑑み、「安全なまちづくり」に絞り質問を行いました。さて、国は20年前より我が国の治水対策では築堤や河道拡幅等の河川改修を進めることにより、流域に降った雨水を集めて海まで早く安全に流すことを基本として行われてきましたが、都市化による土地利用の変化や急激な気象の変化による異常降雨の頻発により河川の改修のみによる対応では限界が生じる地域もあります。国の河川審議会ではこのことを主眼として特に地域毎の流域対策の中で洪水の氾濫域における土地利用方策他何点を示す答申がなされました。

今回の法改正では平成30年度にすでに川越市でも策定されている立地適正化計画の中での「防災指針」の策定や「災害ハザードエリアとの関係がある場合の市街化調整区域等の開発抑制」に重点を置いた重要な改正となるため市の取り組み体制を含め確認や意見として、私の考えを述べさせていただきます。

質問番号

①2020年6月に成立した都市再生特別措置法等の一部改正について具体的な改正内容とは

②法改正における立地適正化との関連性について

③法改正による川越市への特に影響と内容
④川越市のこれまでの市街化調整区域内のまちづくりについて、どのような考え方で進めてきたのか
⑤今回の法改正については法律上既に施行期日が定められているが、市は今後法改正への取り組みを行っていくのか
⑥法改正に伴うこのような取り組みをはじめ、今後市が防災の視点で取り入れたまちづくりを着実に推進していくには、防災・都市計画部局はもとより総合政策部・財政・福祉・教育・産業観光・建設部など縦割りをなくし横の連携を重視して、全庁的な取り組みが必要と私は思うが都市計画部長はどのように考えるか



令和二年十二月一般質問

霞ヶ関駅北口周辺におけるまちづくりの方向性について (質問主旨)

東武東上線霞ヶ関駅北口が開設され駅前広場の整備も進み霞ヶ関駅北口周辺は駅に隣接した立地を生かし周辺住宅地の生活利便性の向上と住環境の維持・向上が図られつつあります。又、昭和59年に国指定史跡となった河越館跡も一部整備は終了しているものの今後の計画の推進に向けて同地の取得も進められております。また、県道川越越年線の拡幅整備に伴い大きな地域課題である踏切拡幅整備の進展も注視するところであります。霞ヶ関駅周辺整備のまちづくりについては何度となく質問をしてまいりました。今回は、現行の行政の制度や個別計画による市内の先行事例を参考にし、更に文化財保護法の一部改正に伴う新しい計画での取り組みの可能性を含めて、住民主体のまちづくりの手法・周辺環境の整備の可能性などを質問いたしました。

質問番号

- ①霞ヶ関駅北口駅前広場の整備状況とは
- ②県道川越越年線の東武東上線踏切を整備するにあたりその周地の取得状況は
- ③県道川越越年線の踏切の整備にかかる東武鉄道株式会社との協議はどのようなものか
- ④名細地区の歴史的文化的遺産について
- ⑤河越館跡の整備状況について
- ⑥国が示す文化財保存活用地域計画の在り方と本市の文化財保存活用地域計画の検討状況について
- ⑦地区街づくり推進条例の概要について

⑧地区街づくり推進条例に基づく協議会活動の先行事例について

⑨歴史的風致維持向上計画の概要について

⑩歴史的風致維持向上計画における重点区域の取り組みと効果について

⑪文化財保存活用地域計画の策定に当たった進め方について

⑫霞ヶ関駅北口から河越館跡周辺エリアにおいて、どのようなまちづくりが考えられるか、市内のこれまでの取り組みを参考に検討を進めてほしいが市の認識を伺う



現会長白井様、小野澤、中野様、河合様
みどり会自治会歴代会長と霞ヶ関駅北口にて

※撮影時のみマスクを外しています。

霞ヶ関駅北口整備が完了いたしました。この北口広場完了を前に周辺地元地域の皆様のご理解のもと用途地域の変更等や地元みどり会自治会の皆様からの気象等表示板、時計のご要望がございましたが現状では時計の設置については要望達成に私もご協力をさせていただきました。

令和二年九月一般質問

資源化センター並びに周辺関連施設について (質問主旨)

平成22年4月より稼働を始めた川越市資源化センター(ゴミ焼却施設他)も竣工後10年を経過いたしました。周辺

には資源化センターの熱エネルギーを有効活用している健康増進運動施設ピコアも現状ではコロナ禍で利用制限は

されているものの市民や市外の方々の利用者も大変多く人気のある施設です。また一方でゴミ焼却施設の最終処分場

でもある小畔の里クリーンセンターでも処理量の限度に近づき今後の課題も

控えております。今回の一般質問では稼働後10年経過した資源化センターを

はじめ関係する周辺施設の今後のことも含め多角的に質問を行いました。

質問骨子

①資源化センターのダイオキシン類濃度について

②資源化センターは竣工後10年経過しているが当初の建設費とこれまでの維持管理費はいくらか又、どのような運転・管理を行っているか。

③資源化センターの施設の稼働率ほどのようか。

④資源化センターの焼却機器の耐用年数はどのくらいか。

⑤10年経過した資源化センターを今後どのように維持管理していくのか。

⑥なぐわし公園ピコアが平成24年度に竣工しているが改めてどのような施設か。

⑦なぐわし公園の今までの整備状況と今後の整備計画とは。

⑧なぐわし公園の災害時の役割とは。

⑨最終処分場・小畔の里クリーンセンターの残容量と今後の市の利用想定とは。

⑩小畔の里クリーンセンターの維持管理状況とは。

⑪小畔の里クリーンセンターの将来とは。

⑫資源化センター及びなぐわし公園の建設に要した期間

⑬資源化センター建設時には将来についてどのような議論があったか

⑭西清掃センターの解体及び東清掃センターの大規模改修がされているが検討期間や経費の状況を伺う

⑮市は資源化センターなどの関連施設を今後どのように考えているのか



名細公園ピコア・川越市資源化センター

令和二年六月一般質問**「災害備蓄について」**

(質問主旨) 平成24年度川越市議会では、川越市が災害に見舞われ市長が災害対策本部を設置した場合には、市議

会では市本部の支援のための情報収集等及び市民の為の川越市議会災害対策

支援本部の設置を行うとされておりま

す。当時私は議長職を務めておりま

したが市議会の規定には詳細な所掌事務

の制定はなく、実務的にも不足なもの

もありましたので、平成30年再度議

長職に就任した経緯もあり改めて皆さ

んと協議を行い川越市議会災害対策支

援本部設置に向けた議員自身の所掌事

務規定をすべきと、翌年議長職務終了

後、自ら提案し川越市議会災害対策支

援会議の設置を行い委員長に就任、本

格的な川越市に対する支援体制が推進

できるよう災害対策支援に対する指針

の策定を行いました。川越市災害対策

本部の支援のための議会としての支援

ります。

このようなことを前提に、災害時にお

ける新たな体制や新型コロナウイルス感染症との両立を考えた避難場所の対応や備蓄

品の指定避難所等(主に学校)の課題について確認をいたしました。

質問骨子

1. 備蓄品保管室の整備の経緯(学校

教室内)

2. 備蓄品保管室の整備数及び保管

室の広さについて

3. 平成28年度包括外部監査からの

備蓄品等への管理の指摘及び改善策に

ついて

4. 保管室における備蓄品目と備蓄

量について

5. 備蓄品保管室の広さについての

課題

6. 学校を管理する教育委員会の認識及び充足する保管室の広さの整備及び市と教育委員会との共通認識の整備に向けた考えについて

災害避難時・パティションメント

「公共工事発注の諸課題について」

(質問主旨) 新型コロナウイルス感

染症による今後の経済予測も含め川越市における公共工事の発注の安全性及び東日本大震災以降の公共工事を含め、建設関係では地域企業は地域の守り手と再認識される一方災害対応に最低限

必要な企業数・人員・機材の確保に必要「限界工事量」の確保の為に地域企業の維持と育成が重要であり、公共工事とはこのようなことも鑑み入札発注によるチャンスにより地域経済の

活性化はもとより企業の技術力アップや精度の高い施工により住民サービスにしっかりと結ぶものと考えます。そのようなことも含め質問をいたしました。

質問骨子

- 1. 市財政に対する新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるが本市の公共工事の発注に関し基本的な考えを伺う。
- 2. コロナ禍における公共工事に対する各部署の留意事項とは
- 3. 都市基盤整備の推進に対し建設業者との連携が不可欠であるが、円滑な入札執行及び工事施工に資する留意事項とは

2020年東京オリンピック・パラリンピックについて

コロナ禍における東京オリンピック・パラリンピックの延期について

(質問主旨) 私は現在川越市議会2020年東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会委員長を努めて

おります。我が国では本年7月に開催予定の東京オリンピック・パラリンピックの延期が決定されました。このことを受け本市でオリンピックゴルフ競技を開催する市長としての受け止めを確認するため質問を行いました。

トピックス

コロナ禍の中での議員活動の合間をみて！
毎年恒例 麦づくり



コロナ禍初挑戦!!梅ジュースづくり



コロナ禍初挑戦!!唐辛子づくり



プロフィール

昭和29年3月13日生
川越市小仙波町生まれ
現職

- ・川越市議会議員 5期
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会 委員長
- ・川越市議会災害対策支援会 議員
- ・川越地区消防組合 議員
- ・川越地区消防組合 監査委員
- ・文化教育常任委員会委員
- ・第84代川越市議会議員 (歴任)
- ・第78代川越市議会議員 (歴任)

最終学歴
東洋大学大学院工学研究科建築学専攻
博士前期課程修了(修士)

- 役職
- 東洋大学校友会 埼玉県西部支部 監事
- 県立川越工業高等学校同窓会 理事
- 川越市立川越第一中学校同窓会 理事
- 児童養護施設(埼玉育児院)後援会 理事
- 上戸小学校区スポーツ振興連絡協議会 顧問
- 川越市マレットゴルフ連盟 顧問
- 川越ボラリスミニバスケボールクラブコーチ
- 川越地区ミニバスケットボール連盟 相談役
- (歴任) 社川越青年会議所副理事長 歴任
- (歴任) 川越市立上戸小学校PTA会長 歴任
- 川越市立鯨井中学校PTA会長 歴任

2021年3月現在

